

琵琶湖の保全及び再生に関する施策の実施状況

- ・ 治山事業等による国土強靱化
- ・ 木材の安定供給・利用
- ・ 鳥獣害対策の推進、生物多様性の保全
- ・ ニゴロブナ等の産卵・繁殖の場となるヨシ帯造成

農 林 水 産 省

○頻発化・激甚化する自然災害の早期復旧に取り組み、地域の安全安心を確保するため、流域治水と連携した国土強靱化対策を推進します。

○森林の多面的機能を持続的に発揮させるため、地域管理経営計画等に基づき、公益重視の管理経営を推進します。

治山事業等による国土強靱化

流域治水と連携した国土強靱化対策

森林の維持造成を通じて森林の水源かん養機能や土砂災害防止機能を高め、山腹崩壊、土石流等の災害から人家等を保全します。



(高島市荒谷山国有林)



(大津市別所国有林)
治山: 溪間工(治山ダム)

豪雨等による災害箇所の復旧整備

豪雨等による災害箇所の復旧に取り組むこととし、令和5年度は、河内山国有林(高島市)において治山工事(谷止工)を実施します。



山腹工(大津市関寺国有林)



谷止工(甲賀市大河原国有林)

木材の安定供給・利用

間伐等森林整備の着実な推進



令和5年度は約81haの森林整備(多賀町、甲賀市ほか)に取り組みます。

森林整備を通じて生産された素材の多くは、製材用として県内の木材市場において委託販売を実施するほか、間伐等により発生するチップ原料材等は、システム販売(需要者と安定供給の協定を締結し、木材を安定的に供給する販売方法)を実施します。



育成受光伐※
(近江八幡市奥島山国有林)



木材搬出



山土場



市売り状況

※育成複層林において、下層木の成長環境と光環境を確保するための上層木を抜き切り。

鳥獣害対策の推進

シカの個体数調整



シカ被害の多い国有林（大津市、甲賀市、米原市ほか）において、くくり罠（小林式誘引捕獲法）や囲い罠による効率的なシカの捕獲に取り組んでいます。

また、米原市・米原市鳥獣被害防止対策協議会（H30）、滋賀県（R3）と協定を締結し、地域の鳥獣害対策に連携して取り組んでいます。



くくり罠（小林式誘引捕獲法）による捕獲
（甲賀市三郷山国有林）



囲い罠による多頭数捕獲
（米原市奥伊吹国有林）

生物多様性の保全



カワウ被害対策

伊崎国有林（近江八幡市）において、有識者、関係行政機関等からなるワーキンググループの意見を聴きつつ、「カワウと人の共生の森プロジェクト」として、森林影響調査（樹木の枯損度調査等）等に取り組んでいます。



近江八幡市伊崎国有林

滋賀森林管理署管内図

※写真を掲載した国有林の位置



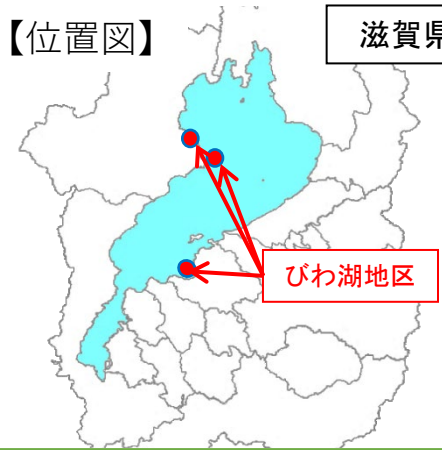
ホンモロコ等の産卵・繁殖の場となるヨシ帯造成

概要

- 琵琶湖岸は、水ヨシ帯が広がる良好なホンモロコ等コイ科魚類の産卵・繁殖の場であったが、開発等の影響によりヨシ面積が減少。これに伴いこれらの漁獲量も減少。
- このため、安定的に漁獲のあった時期の規模まで水ヨシ帯を回復すべく、着定基質の整備等により水ヨシ帯を造成し、ホンモロコ等の漁獲量の回復を目指している。
- 造成ヨシ帯では、ホンモロコ等の産卵・繁殖に好適な環境が回復傾向にあり、漁獲量も増加傾向にある。

【位置図】

滋賀県



対策

水ヨシ帯造成に向け、ヨシの生育に最適な水深となる琵琶湖水位-30~-50cmとなるよう盛土等によりヨシ生育基盤を造成するとともに、ヨシの植栽を実施。



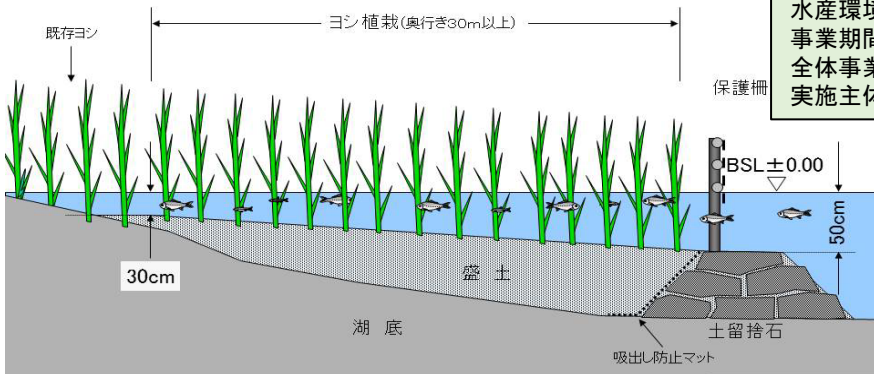
衰退するヨシ帯



造成、ヨシ植栽を実施



造成後、成長するヨシ帯



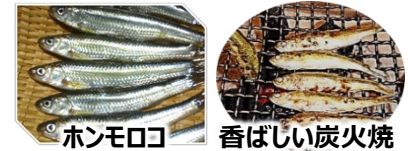
水産環境整備事業(びわ湖地区)
事業期間：H29年～R8年度
全体事業費：2,282百万円
実施主体：滋賀県

3

効果

造成ヨシ帯における産卵・繁殖と、親魚保護、外来魚駆除および過剰繁茂した水草除去などの相乗効果により、ホンモロコ資源は回復傾向

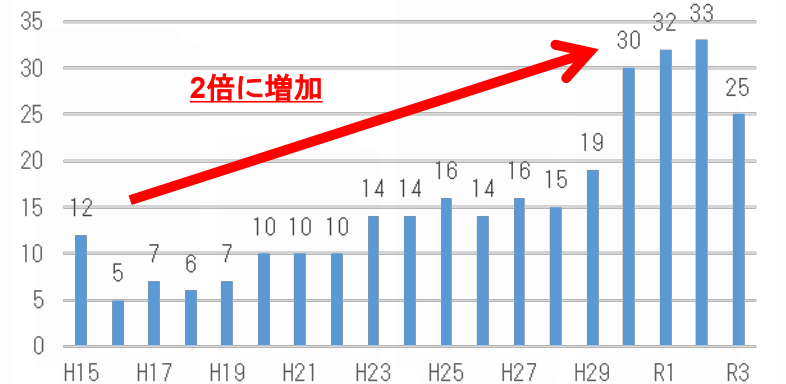
▶ ホンモロコ漁獲量は増加傾向



効果発現前
12 ton
(H15)

漁獲量 (トン)

効果発現後
28 ton
(H29~R3の平均)



2倍に増加